

## 【年会発表セッションコード表】

- セッションコードを2つ(《材料・物性セッションコード》と《手法セッションコード》)お選びください。
- コード番号を選ぶ際はお間違いのないようにご注意ください。
- 全てのセッションで口頭発表とポスター発表を受付けます。
- 発表形式を含め、最終的な発表セッションについては行事企画委員会にご一任ください。

### 〈材料・物性セッションコード〉

A. 高温・構造材料	
A 1. 強度・破壊特性・信頼性	A 1 0
A 2. 弾性・塑性・粘弾性	A 2 0
A 3. 高温力学特性・熱的特性	A 3 0
A 4. 耐食性・耐酸化性	A 4 0
A 5. トライボロジー特性	A 5 0
A 6. 疲労特性	A 6 0
B. 電子材料	
B 1. 誘電体・絶縁体	B 1 0
B 2. 圧電体	B 2 0
B 3. 半導体・導電体	B 3 0
B 4. 磁性体・超伝導体	B 4 0
B 5. イオン伝導体	B 5 0
C. ガラス・フォトンクス材料	
C 1. 光学的性質	
(1) オプティクス	C 1 1
(2) フォトンクス	C 1 2
(3) ルミネッセンス	C 1 3
C 2. 電気・磁氣的性質	C 2 0
C 3. 構造・熱的・機械的性質	C 3 0
C 4. 化学的性質	C 4 0
D. 生体関連材料	D 1 0
E. セメント	E 1 0
F. 陶磁器	F 1 0
G. 環境・エネルギー・資源関連材料	
G 1. 環境調和材料	
(1) 調湿・雰囲気制御材料	G 1 1
(2) 撥水・防汚材料	G 1 2
G 2. 環境浄化材料	
(1) 光触媒	G 2 1
(2) 触媒一般	G 2 2
(3) 分離・吸着材料	G 2 3
G 3. エネルギー関連材料	
(1) 光エネルギー変換材料	G 3 1
(2) 熱電材料	G 3 2
(3) 燃料電池	G 3 3
(4) 電池関連材料	G 3 4
G 4. 資源関連材料	
(1) 資源分離・回収材料	G 4 1
(2) 資源リサイクル・リユース	G 4 2
H. 教育	H 1 0

### 〈手法セッションコード〉

p 1. 液相プロセス	
(1) ゼルゲル法	p 1 1
(2) 水熱合成法	p 1 2
(3) 超分子鑄型法	p 1 3
(4) インターカレーション ・イオン交換	p 1 4
(5) 熱分解法	p 1 5
(6) 沈殿法	p 1 6
(7) その他の溶液法	p 1 7
p 2. 気相プロセス	
(1) CVD	p 2 1
(2) PVD	p 2 2
p 3. パウダープロセス	
(1) 原料粉末合成	p 3 1
(2) 粉体・成形	p 3 2
(3) 焼結	p 3 3
(4) 加工・接合	p 3 4
p 4. その他のプロセス	
(1) 溶融法	p 4 1
(2) 水和反応	p 4 2
(3) ソフトケミカル	p 4 3
(4) 高圧合成	p 4 4
(5) その他	p 4 5
p 5. 解析	
(1) 構造解析	p 5 1
(2) シミュレーション・計算科学	p 5 2
(3) 分析・解析方法	p 5 3
p 6. 教育	p 6 0